

# MONREVE

モンレーヴ

## ベビーキャリー

HO-002 取扱説明書 [保証書付]

ご使用前に必ずよくお読みください。  
いつでもご確認できるように大切に保管してください。



体重  
**13kg**  
未満のお子様  
新生児～1歳頃  
まで

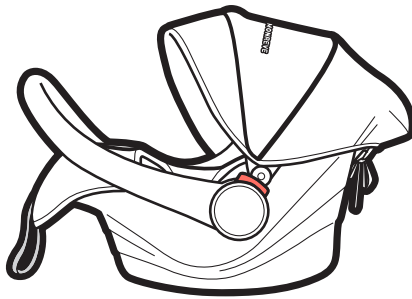
本装置の  
取り付けは**後ろ向き専用**です。

本革シートの車両は、シートが傷むおそれがあるため、そのまま本装置を取り付けしないでください。取り付けられる場合は、必ず保護シート等を敷いてからご使用ください。(別売)

## MONREVE

モンレーヴ

### ベビーキャリー



企画・販売



株式会社シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

<http://www.ca-sansho.co.jp/>

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日※弊社休日は除く)

TEL.0568-28-5333

受付時間 / AM10:00～12:00・PM1:00～5:00

MADE IN CHINA 2019-06

# ご使用になる前に

～安全のため必ずお読みください～

## 本装置について

- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、最新のヨーロッパの安全基準(ECE R44/04)で試験を受け認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
- 車両製造者の車両ハンドブックに当該車両が、この年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられます。
- 本装置は、3点式シートベルトを装備している座席にのみご使用できます。(2点式シートベルトの座席には使用できません。)
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または(株)シーエー産商まで、お問い合わせください。

MONREVE  
モンレーヴ  
ベビーキャリア

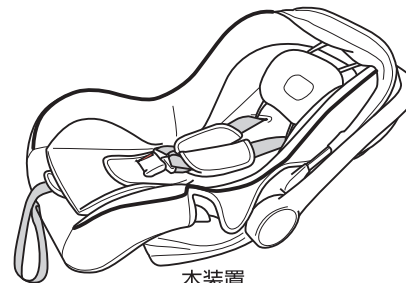
## 目次

●ご使用になる前に	1
本装置について	1
内容物の確認	2
本装置の特徴	2
ご利用にあたって	3
お使いいただけるお子様の目安	3
●取付可能な車両のシートベルトと注意点	4
●安全にお使いいただくために	5
●各部の名称	11
●各部の使い方	12
ハンドルの使い方	12
バックル・タングの使い方	13
肩ベルトの使い方	14
サンシェード・クッション・パット類の取り付け方	16
●チャイルドシートとして使用する	17
取り付ける前のご注意	17
取り付け方	18
お子様の乗せ方・降ろし方	20
取り付け後の安全チェック	23
●ベビーキャリアとして使用する	24
●ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する	26
●お手入れのしかた	27
●保証書	30

1

## 内容物の確認

本装置には、次のものが同梱されています。足りないものや破損している箇所がある場合はそのまま使用されなくて、お買い上げの販売店または本書巻末に記載の(株)シーエー産商までご連絡ください。

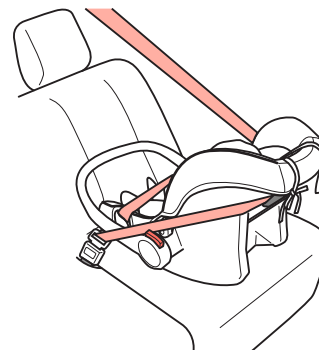


本装置

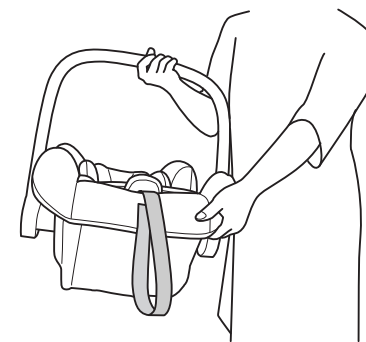
取扱説明書  
保証書  
(本書)

## 本装置の特徴

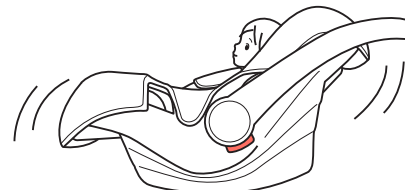
本装置は、チャイルドシートとして使用できるほか、ロッキングチェア、ベビーキャリア、ベビーチェアとしてもご使用いただけます。



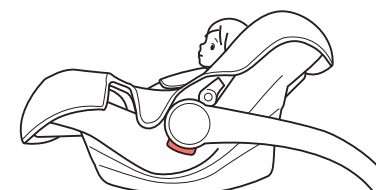
チャイルドシート



ベビーキャリア



ロッキングチェア



ベビーチェア

2

## ご利用にあたって

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ずこれらの内容を十分理解したうえでご使用ください。

### 警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

### 注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

### 補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

**×** 図に表示している行為の禁止を示しています。

## お使いいただけるお子様の目安

本装置は、次の条件をみたすお子様にご使用いただけます。  
本装置の使用可能な範囲はECE R44/04の規定である、お子様の体重を基準に使用範囲を定めています。この範囲にあてはまらない場合は使用しないでください。また、この範囲はチャイルドシートだけでなく、ロッキングチェア、ベビーキャリア、ベビーチェアにおいても共通です。

### 体重

**2.5kg以上13kg未満の**

**お子様**

(新生児～1歳頃まで)

### 身長

**本装置に乗せて  
頭が本装置から出ない  
お子様**



警告

身長・年齢が使用できる目安の範囲であっても、お子様の体重が13kgを超えた場合はご使用いただけません。

補足

- 長時間連続してのご使用は、お子様の負担となりますので、1時間くらいを目安として、お子様を降ろして休憩を取るようにしてください。
- 運転者以外の同乗者は、お子様から目を離さないようにしてください。同乗者がいない場合は、運転者が安全に留意して、休憩時などにお子様の様子を確認してください。

3

## 取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付ける上での注意点

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。  
2点式シートベルトの座席には、取り付けられません。

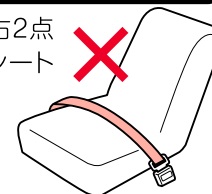
### 3点式シートベルト

腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルト。



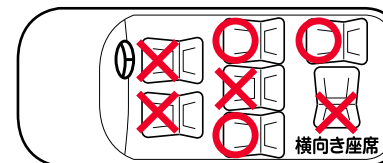
### 2点式シートベルト

腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルト。



### 取り付け可能箇所

- 助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。



○ 取り付け可能    × 取り付け不可

シートベルトの種類	特徴	取り付けの際の注意点	取り付けの可否
ELR 緊急ロック式 (巻き取り装置付)	ゆっくり引き出すと自由に入りますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。	シートベルトをゆっくり引き出して取り付けてください。	○
AELR (チャイルドシート固定機能付)	すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。	すべて引き出して使用できません。チャイルドシート固定機能を解除して使用してください。	○
NRマニュアル式 NLR非ロック式 (巻き取り装置付)	ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。	ベビーシートに合わせ長さを調整して取り付けてください。	○
ALR 自動ロック式 (巻き取り装置付)	引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。	使用できません。	×

4

# 安全にお使いいただくために

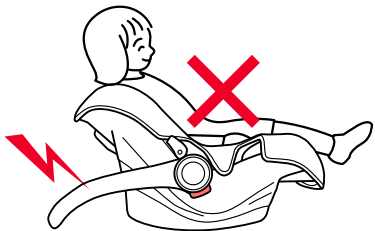


警告

## 本装置は、安全な後部座席に取り付けてください。

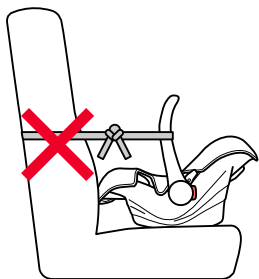
※エアバッグが装備された前座席には、取り付けられません。

- お子様の頭頂部が出たり、足が大きく本装置からはみ出してしまう場合は、使用しないでください。

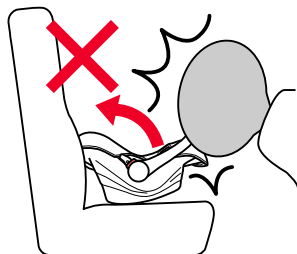


- 安全のため、必ず後ろ向きに取り付けてください。前向きでは使用できません。

- 取り付ける際は、必ず車両のシートベルトで固定してください。ひも等シートベルト以外のものでも固定して、使用しないでください。

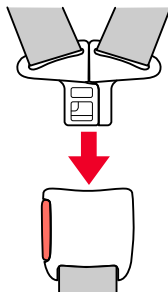


- エアバッグが装備された座席には、本装置を使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。※サイドエアバッグのみの場合は、使用できます。



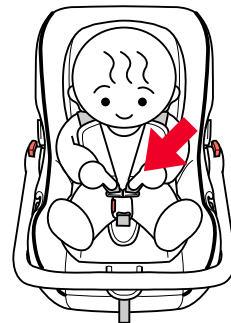
- 『取扱説明書』をよく読んでから取り付けてください。しっかりと取り付けできない場合は、使用しないでください。

- 左右のタンクを重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで確実にバックルに差し込んでください。



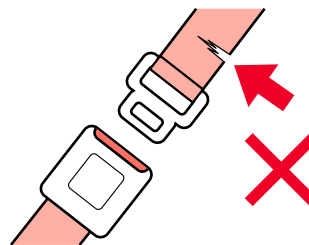
5

- お子様がバックルボタンを押してしまう可能性がありますので、時々タンクがバックルから外れていないかを確認してください。

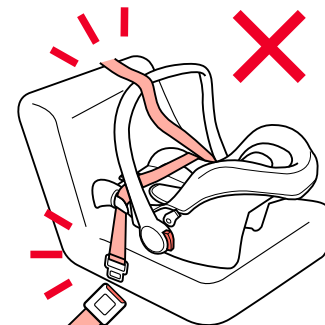


- 本装置を取り付けた後に、車両の座席をリクライニング操作や移動をすると取り付けが緩む場合がありますので、必ず取り付け状態を確認してください。

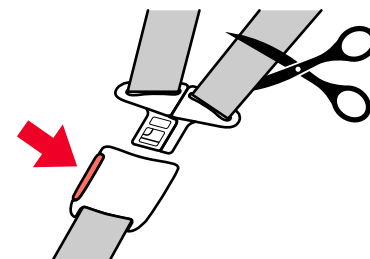
- 車両のシートベルトに傷がある場合、その座席には決して取り付けしないでください。



- お子様を本装置に乗せないとき、また車内に置いたまま運転される場合でも、必ず車両のシートベルトで固定してください。



- 事故などの緊急時は、バックルボタンを押し、肩ベルトを外してお子様を車外に脱出させてください。肩ベルトが外れない場合は、肩ベルトを切断してください。



6

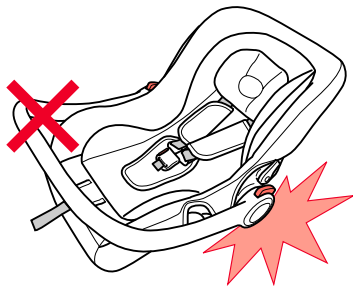
# 安全にお使いいただくために

## 警告

- お子様を本装置に乗せたまま、車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となる場合がありますので、必ず保護者の方が同乗してください。

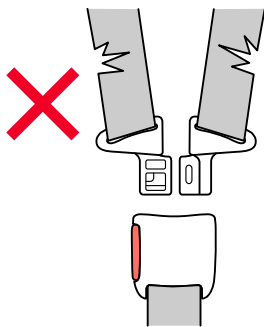


- 衝突事故や本装置を落下させたときなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は外見上問題がなくても絶対に使用しないでください。



- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないか確認してからご使用ください。

- 本装置の肩・腰ベルトに傷が付いた場合は、使用をただちに中止してください。



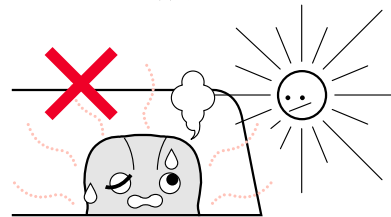
7

- 肩ベルトが緩んだ状態で使用すると、お子様が脱落したり肩ベルトが首に巻きついて窒息するおそれがありますので、正しい長さに調節してからご使用ください。



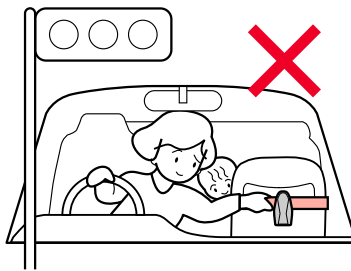
## 注意

- 直射日光が当たったり、夏の日差し強い日に車内に置いたままにすると、本装置のタンクなどが熱くなって、お子様がやけどをするおそれがあります。日陰に駐車されるか、本装置にカバーをかけて保護してください。

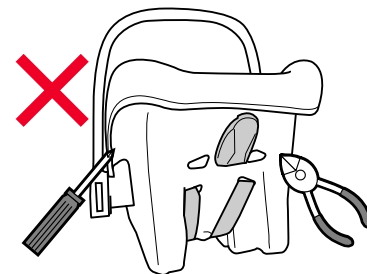


- 本装置を車両のドアに挟まないように取り付けてください。

- 走行中は、本装置の操作・移動は決してしないでください。取り付け状態の確認、お子様の固定状態の確認される場合は、車両を安全な場所に停めてから確認・操作をするようにしてください。

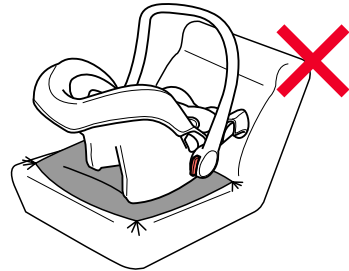


- 本装置を改造したり、部品を外して使用しないでください。(インナークッションを除く) 万一の場合、十分な機能を果たさなくなります。また、インナークッション等は純正のもの以外は使用しないでください。安全を損なうおそれがあります。



- 本装置を屋外・風雨にさらさないようにしてください。

- 車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください。(保護シートは除く)

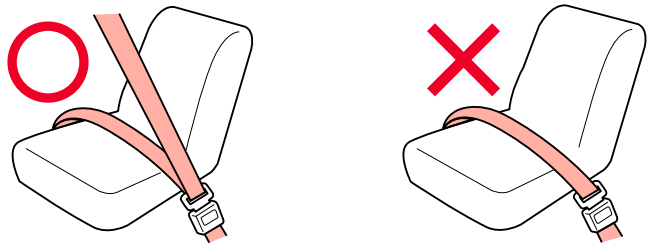


8

# 安全にお使いいただくために

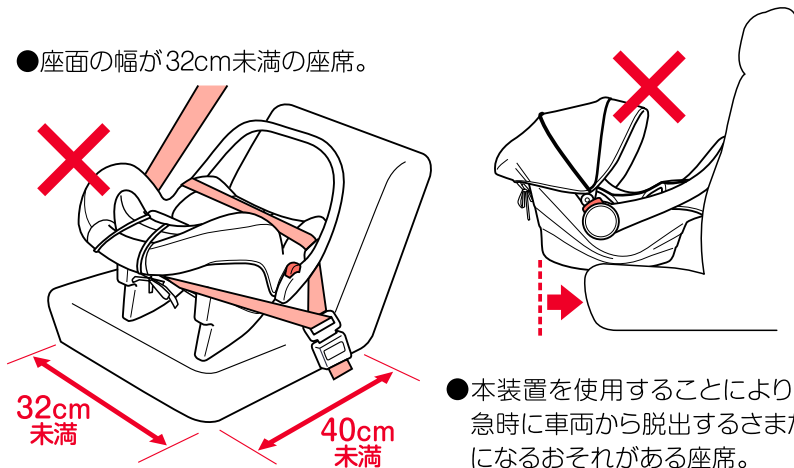
## ⚠ 注意

- 本装置が取り付けられるのは、3点式シートベルトの座席のみです。
- 2点式シートベルトの座席。



## 取り付けできない座席

- シートベルトの全長が230cm以下の座席。
- シートベルトが装備されていない座席。
- 座面の奥行きが40cm未満の座席。
- 本装置が座席からはみ出す場合。
- 座面の幅が32cm未満の座席。

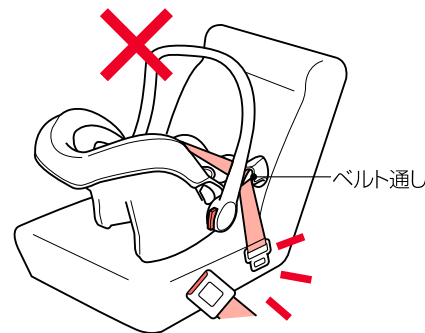


9

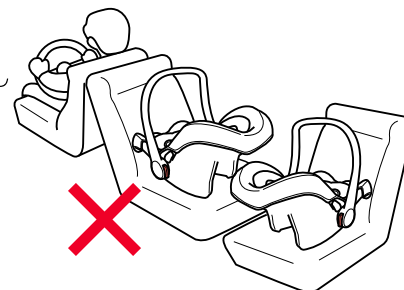
- 本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出するさまたげになるおそれがある座席。

## 取り付けできない座席

- 本装置のベルト通しよりも、前にシートベルトが出ている座席。
- 極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。



- 横向きや後ろ向きの座席。



- 自動式ショルダーベルト（パッシブシートベルト）※が、装備されている座席。

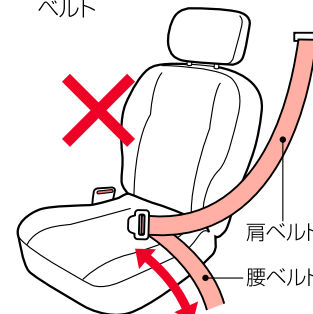
※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト



- 腰ベルト、または肩ベルトがドアに取り付けられた座席。

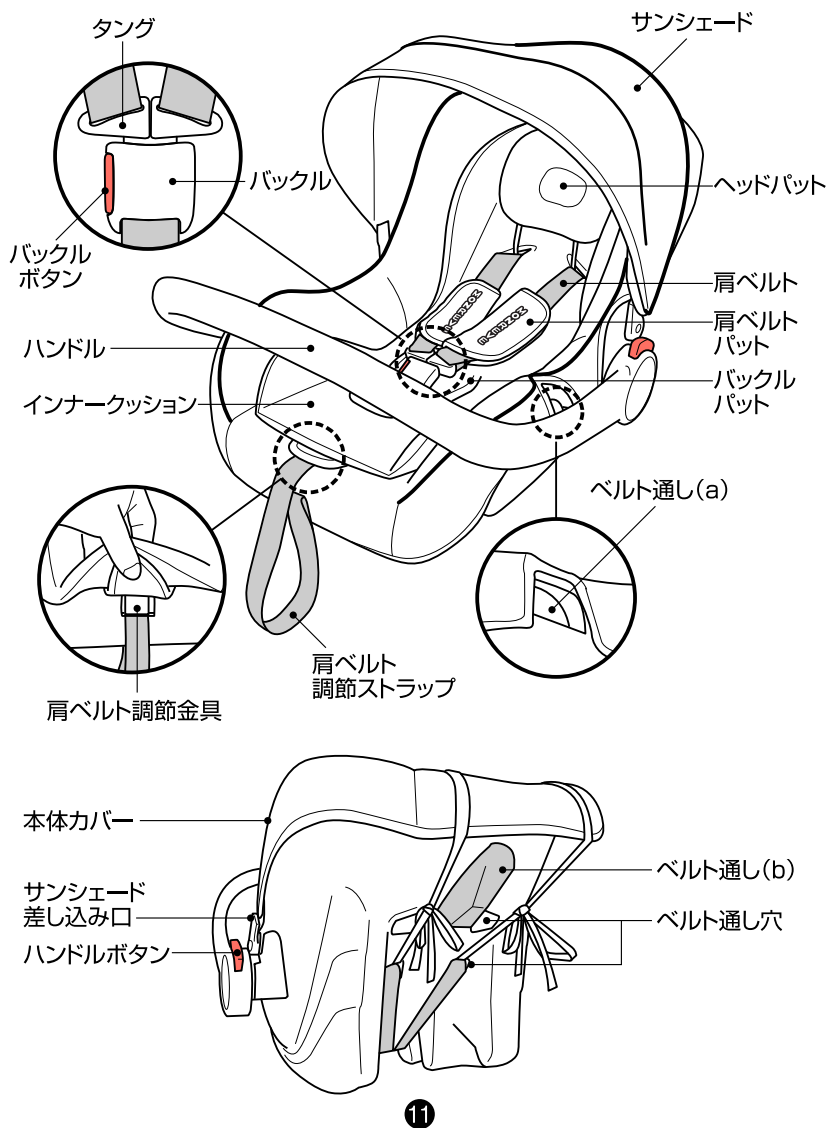
- 腰ベルトにELR※が装備されている座席。

※腰ベルトをゆっくり引くと自由に入出し、衝撃を感知した際にロックするシートベルト



10

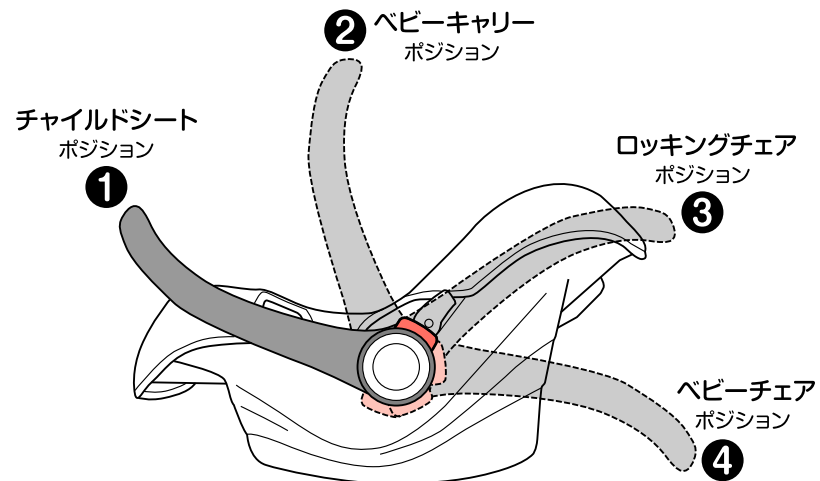
## 各部の名称



## 各部の使い方

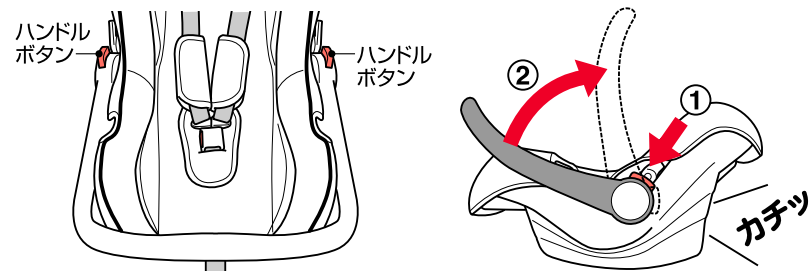
### ハンドルの使い方

ハンドルは4つのポジションで使用することができます。



ハンドルの付け根の左右にあるハンドルボタンを同時に押しながら、ハンドルを使用するポジションに合わせます。

ハンドルは任意のポジション(①～④)まで回転させると、カチッと音がして固定されます。固定されると押し込んだハンドルボタンは元の位置に戻ります。

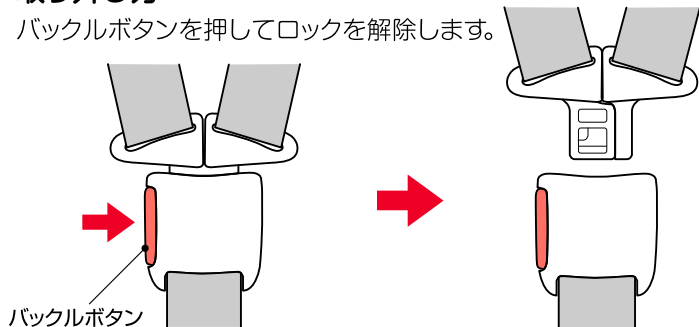


ハンドルを回転させる時、お子様の手・指を挟まないように注意してください。固定しないままにしておくと、思わぬ事故につながる場合がありますので、ハンドルは必ず固定した状態でお使いください。

## バックル・タングの使い方

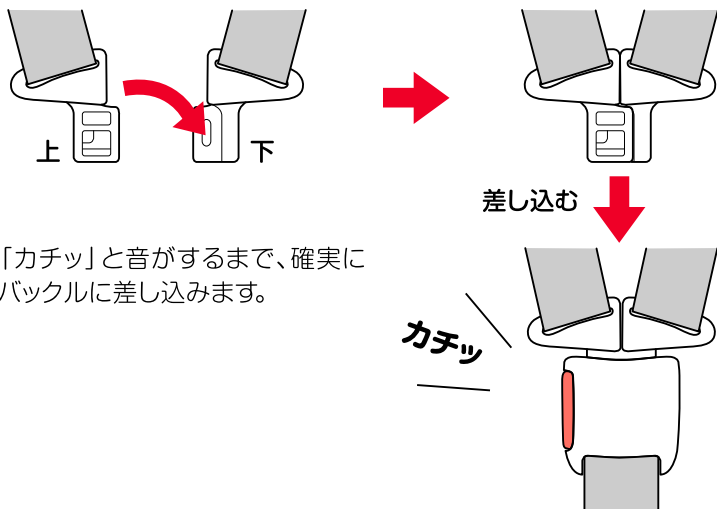
### ●取り外し方

バックルボタンを押してロックを解除します。



### ●取り付け方

タングを上下に重ね合わす。



「カチッ」と音がするまで、確実にバックルに差し込みます。

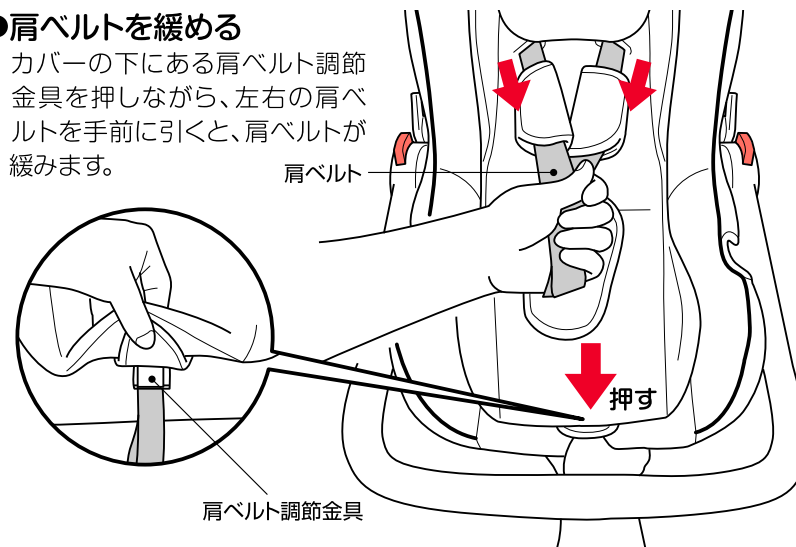


バックルが正しく固定されていないと、使用中に急にバックルが外れ、お子様が本装置から飛び出したり、落下するなど重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は決して使用しないでください。また、バックルの中にゴミや食べかすが入らないように、使用しない時もバックルは固定するようにしてください。

## 肩ベルトの使い方

### ●肩ベルトを緩める

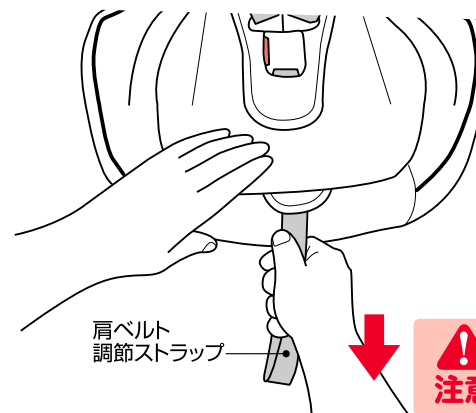
カバーの下にある肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを手前に引くと、肩ベルトが緩みます。



左右の肩ベルトの長さを同じにするために、左右の肩ベルトを持って緩めてください。

### ●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを手前に引くと肩ベルトが締まります。



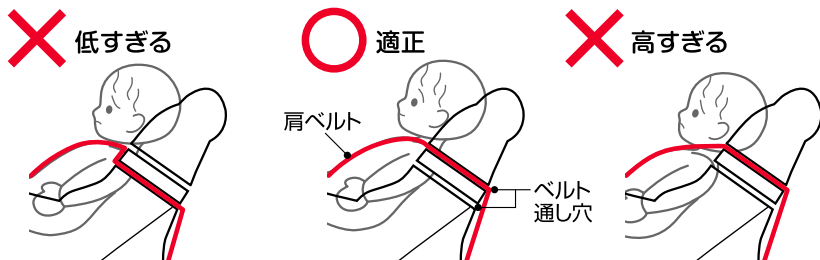
肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。



## 肩ベルトの使い方

### ●高さの調節

お子様の肩よりやや低い位置のベルト通し穴に通してください。  
 お子様の肩よりベルト通し穴が上になる場合は、肩の位置に最も近い位置に通してください。



1

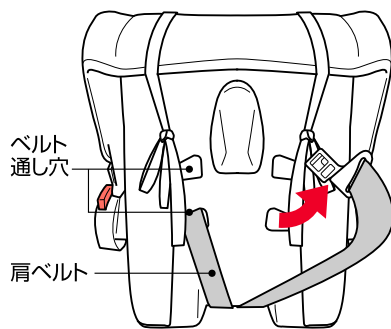
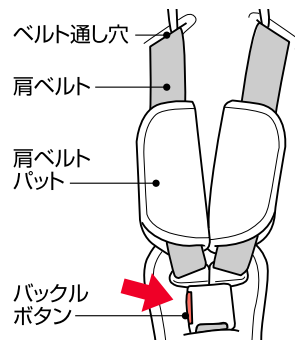
バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトから肩ベルトパットを引き抜きます。

2

背もたれ裏側のベルト通し穴から、肩ベルトを引き抜きます。

3

肩ベルトを、お子様の身体に合った位置のベルト通し穴に通し、肩ベルトパットを通します。



注意

肩ベルトにねじれができないように、また左右の肩ベルトの長さが同じになるように注意しながら調節してください。



警告

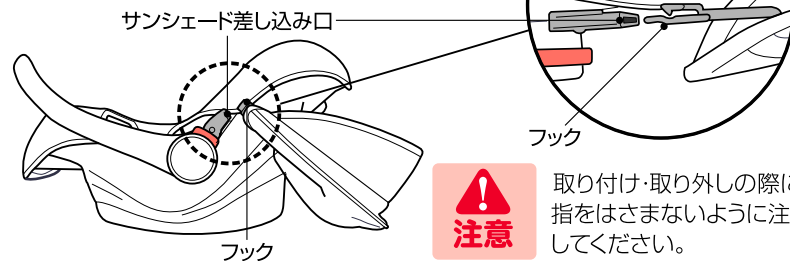
ベルト通し穴の位置が、お子様の身体に合っていないと衝撃が加わった時に肩ベルトが外れ、お子様を保護できません。

15

## サンシェード・クッション・パット類の取り付け方

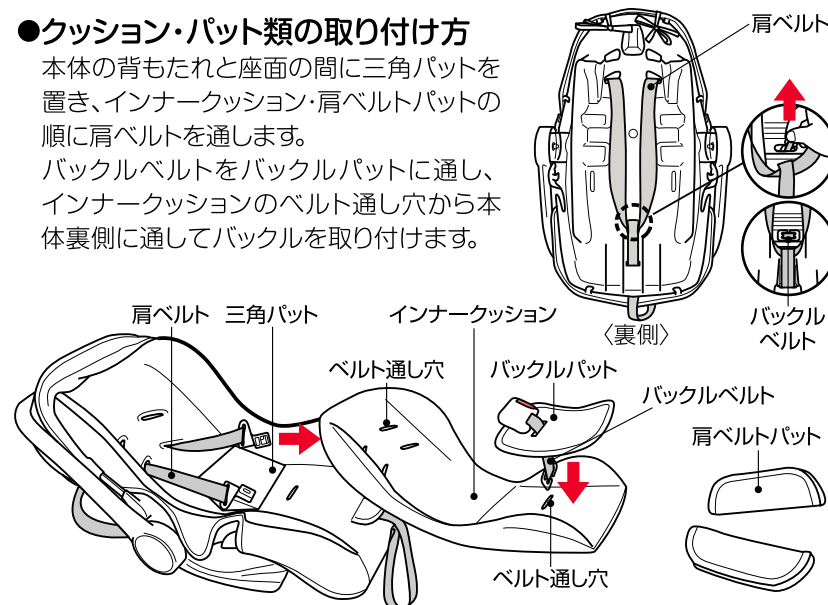
### ●サンシェードの取り付け方

サンシェード差し込み口とサンシェードに付いているフックの抜き差しで、取り付けや取り外しができます。



### ●クッション・パット類の取り付け方

本体の背もたれと座面の間に三角パットを置き、インナークッション・肩ベルトパットの順に肩ベルトを通します。  
 バックルベルトをバックルパットに通し、インナークッションのベルト通し穴から本体裏側に通してバックルを取り付けます。



警告

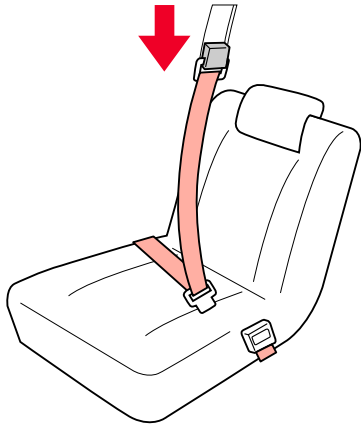
本装置が所定の安全性能が発揮できなくなるおそれがありますので、部品を取り外して使用しないでください。インナークッションも安全に関わる重要な部品ですので、取り外してよい条件を満たさない場合は、決して取り外して使用しないでください。

16

# チャイルドシートとして使用する

## 取り付ける前のご注意

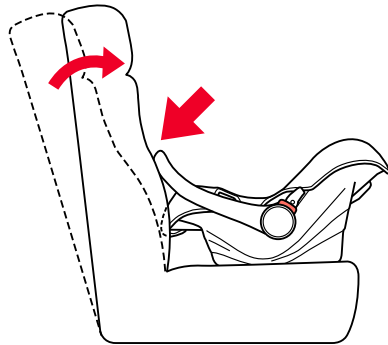
- 高さ調整ができるシートベルトの場合は、最も低い位置にしてください。
- ハンドルの位置は、車両のシートの背もたれの方向に調節してください。(P12参照)



- 本装置の本体とハンドルが車両のシートの背もたれに接地するように、底面がぐらつかないようにしっかりと設置させてください。

- 本装置は、後ろ向き専用です。前向きでの取り付けはできません。

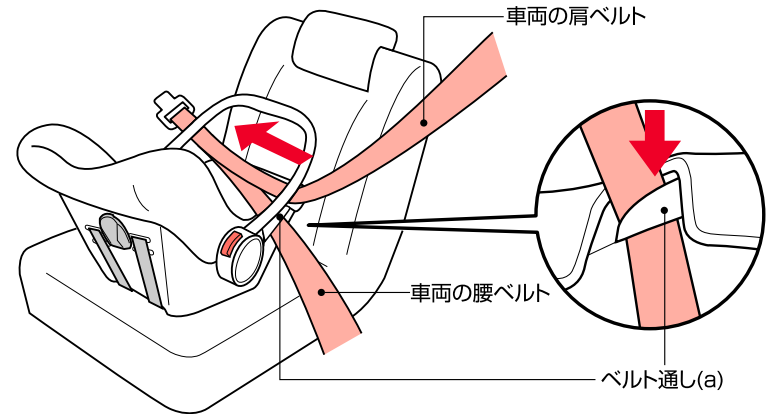
※本装置の本体とハンドルが車両のシートの背もたれに接地しない場合、シートの背もたれをリクライニングできる車両の場合は、背もたれをリクライニングさせて調節してください。



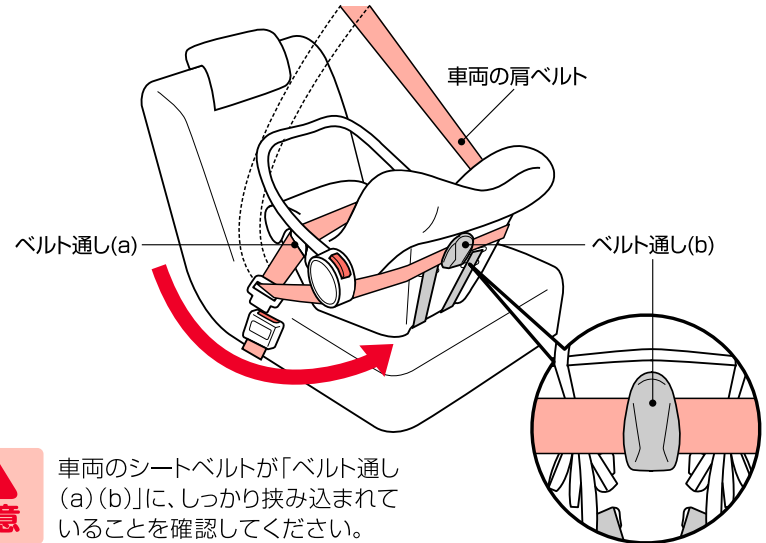
17

## 取り付け方

- 1 車両のシートベルトを引き出し、車両の腰ベルトを本装置の両サイドにある「ベルト通し(a)」に通します。



- 2 車両の肩ベルトを、本装置の背面にある「ベルト通し(b)」に挟み込みます。



車両のシートベルトが「ベルト通し(a)(b)」に、しっかり挟み込まれていることを確認してください。

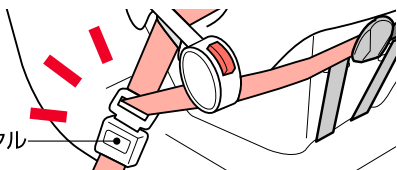
18

## 取り付け方

3

車両のシートベルトのタンクを、車両のバックルに差し込んでセットします。

車両のバックル



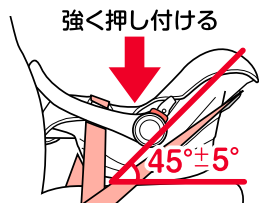
4

本装置の座面を強く押し付けながら、車両の腰ベルト・肩ベルトの順に引っ張って、車両のシートベルトにたるみがないように固定してください。

その際、本装置の背もたれの角度が車両のフロア（水平）に対して $45^{\circ} \pm 5^{\circ}$ になるように調節し固定してください。

※調節できない場合は、ご使用いただけませんのでご注意ください。

強く押し付ける



本装置の座面部分を強く押し付けながら、車両の肩ベルトを強く引いて固定することができます。

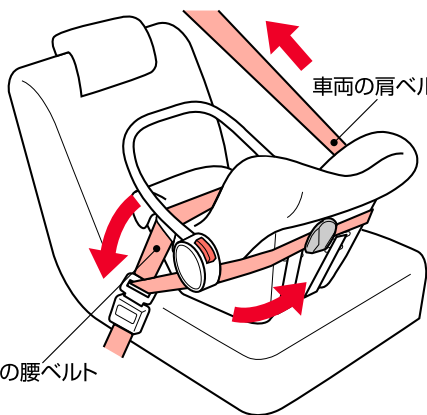
その際、車両の腰ベルトを押さないようにご注意ください。



注意

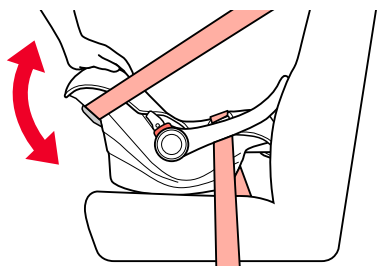
車両の肩ベルトに、ねじれができないように取り付けてください。

車両の腰ベルト



5

本装置の上部を軽く前後左右に揺すり、ぐらつきがないか確認してください。



警告

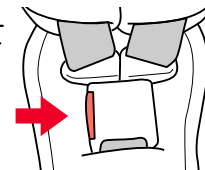
ぐらつきがある場合は取り付けが緩い状態ですので、再度取り付けなおしてください。

19

## お子様の乗せ方

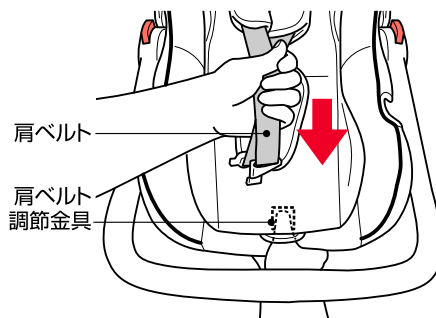
1

バックルボタンを押してロックを解除します。



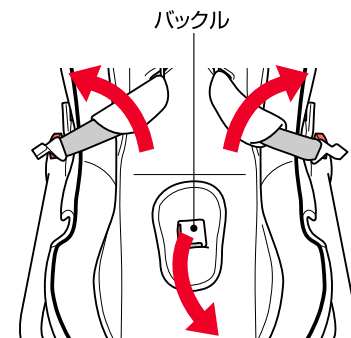
2

カバーの下にある肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを手前に引いて肩ベルトを緩めます。

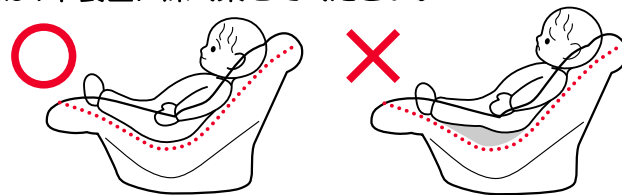


3

左右の肩ベルトを開き、バックルも手前に倒して、お子様を乗せるスペースを確保します。



● お子様は、本装置に深く乗せてください。



警告

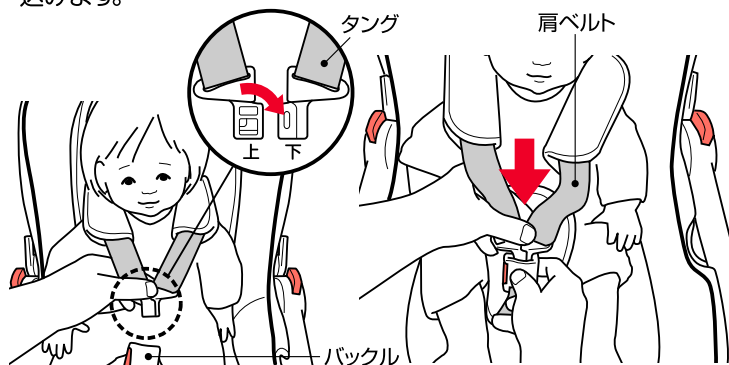
おくるみなど手足の出ない衣類、過度の重ね着で使用しないでください。



20

## お子様の乗せ方

- 4** バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座させます。左右のタングを合わせ、バックルに差し込みます。



**警告** バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。

**注意** バックルに差し込む際に、肩ベルトにねじれができないように、また指をはさまないように十分注意してください。

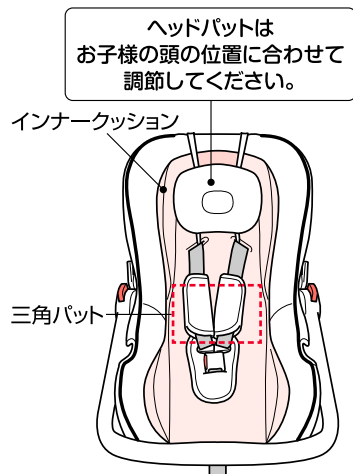
### ●インナークッション (リバーシブル) 〈ご使用期間の目安〉

7kg未満のお子様は、インナークッションをご使用してください。

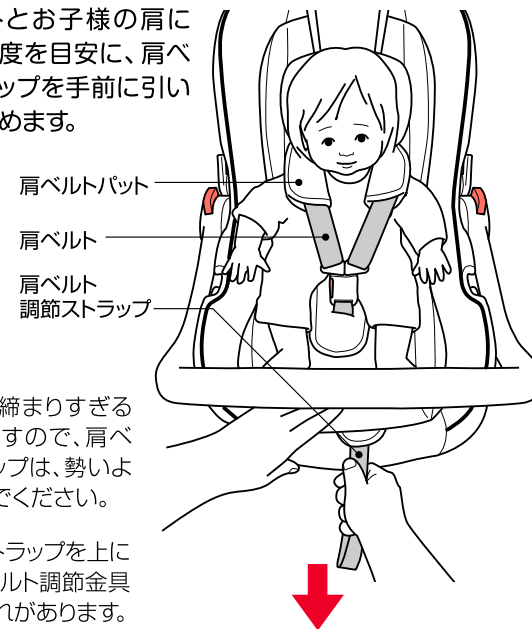
取り外してよい条件は、7kg以上(6ヶ月頃)で腰と首がすわっていること。

※ベルトがきつい場合は、三角パット(インナークッション裏側)を抜き取ってください。

インナークッションは、リバーシブル(肌触りのいいニットと通気性のいいメッシュ)仕様になっていますので、お好みに合わせてご使用いただけます。



- 5** 肩ベルトパットとお子様の肩に指が1本入る程度を目安に、肩ベルト調節ストラップを手前に引いて肩ベルトを締めます。

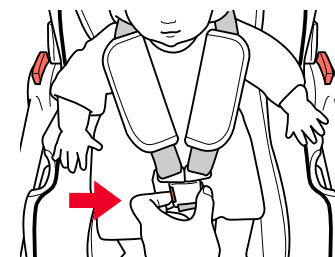


**警告** 肩ベルトが強く締めすぎるおそれがありますので、肩ベルト調節ストラップは、勢いよく引っ張らないでください。

**注意** 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

## お子様の降ろし方

- 1** 肩ベルト調節金具を押し、肩ベルトを緩め、バックルボタンを押してロックを解除します。お子様の腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子様を降ろしてください。



**警告** 肩ベルトにお子様の腕が引っかからないように注意しながら、ゆっくりと降ろすようにしてください。

**注意** お子様を乗せ降ろするたびに、肩ベルトの高さが適正かどうか確認し、必要に応じて調節してください。

## 取り付け後の安全チェック

取り付けが完了したら、本装置がしっかりと取り付けられているか下記の項目にチェック  してください。

車両のシートベルトにねじれやたるみがないこと。

お子様の肩ベルトが正しく調節されていること。

本装置のタンクがバックルに確実にセットされていること。

車両のタンクがバックルに確実にセットされていること。

車両のシートベルトがベルト通し (a) (b) に確実に通っていること。

車両の背もたれに本装置の本体およびハンドルがすき間がなく接していること。

車両のフロア (水平) に対して本装置の背もたれの角度が  $45^{\circ} \pm 5^{\circ}$  になっていること。この角度を超えて起こした姿勢では呼吸がしづらい場合がありますので角度に注意して設置してください。

※調節できない場合は、ご使用いただけませんのでご注意ください。

車両フロア

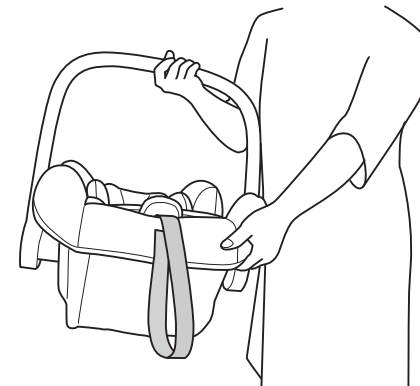
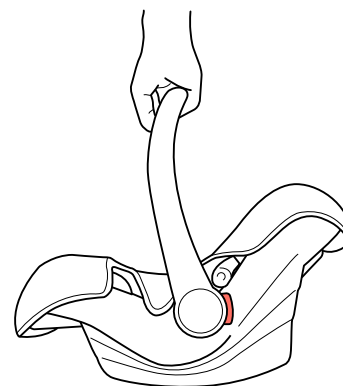
23

## ベビーキャリーとして使用する

本装置のハンドルをベビーキャリーポジションにセットして、お子様を乗せたまま移動することができます。

●ハンドルを立てた状態で本装置を持つ

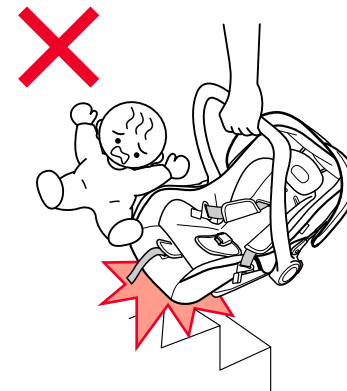
●ハンドルを手でしっかり握ってもう一方の手で本装置をつかむ



### ⚠ 注意

●お子様を乗せるときはチャイルドシートとして使用する場合と同様に、タンク・バックルを固定し、肩ベルトを適正な長さに調節してからご使用ください。

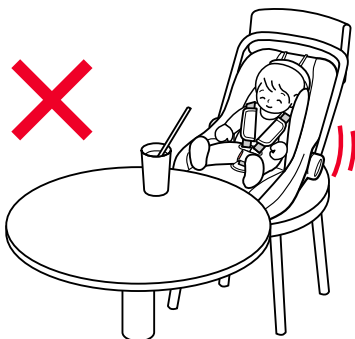
●階段・坂道や段差のある場所は、十分にご注意ください。ぶついたりすると、お子様や運んでいる方がケガをする原因になります。



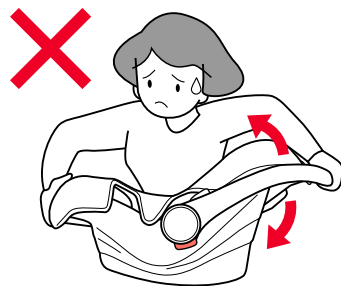
24

## ⚠ 注意

● テーブルや椅子の上など、不安定な場所に置いて使用しないでください。本装置のバランスが崩れて落下するおそれがあり、ケガをする原因になります。



● ハンドルを肩にかけて本装置を持ち運ばないでください。運んでいる方が転倒した場合、ケガをする原因になります。



● 右図のような持ち方は決してしないでください。ハンドルの位置が変わり、お子様が落下するおそれがあります。

● 本装置を持ったまま走らないでください。

● 使用中は、本装置を地面に対して水平に保つようしてください。



警告

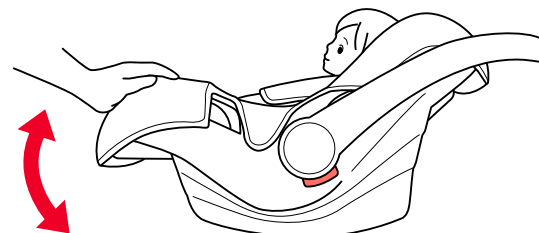
- ハンドルは、確実に固定してください。ハンドルが固定されていないと、本体が前後に回転し、お子様に強い負担がかかるばかりでなく、お子様が本装置から落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 本装置を持ち上げる際は、必ずハンドルをベビーキャリーポジションにして持つようしてください。ハンドルを持たずに持ち上げると、バランスを崩し本装置が落下するおそれがあります。
- お子様は落下したり、重大な事故につながるおそれがありますので、本装置を大きく振ったり、揺すったりしないでください。
- 使用しないときでも安定しない場所や高所に置かないでください。

## ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する

P12「ハンドルの使い方」を参照して、それぞれのポジションにしてご使用いただけます。

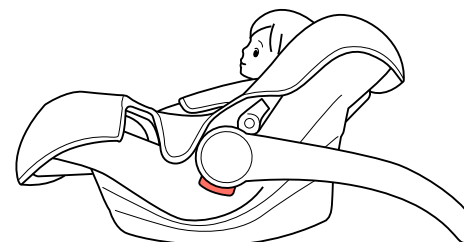
### ● ロッキングチェア

P20「お子様の乗せ方」を参照して、お子様を本装置に正しく乗せます。ゆっくりとやさしく前後に揺らしてください。



### ● ベビーチェア

P20「お子様の乗せ方」を参照して、お子様を本装置に正しく乗せます。そのまま椅子としてご使用ください。



警告

- 本装置の使用中は、お子様を放置しないでください。常に大人の方が付き添い、お子様の様子を頻繁に確認するようしてください。
- 重大な事故につながるおそれがありますので、安定しない場所や階段、ドア、窓などの近くで使用しないでください。また、冷暖房など風が直接あたる場所で使用しないでください。



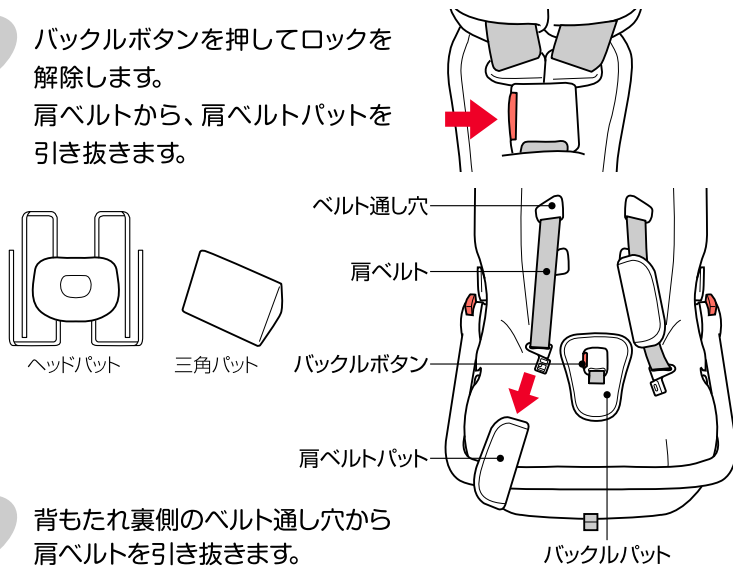
注意

お子様が乗り物酔いと同様に気分が悪くなるおそれがありますので、長時間にわたる連続使用は避けてください。また、おう吐のおそれがありますので、授乳直後、食事直後の使用は避けてください。

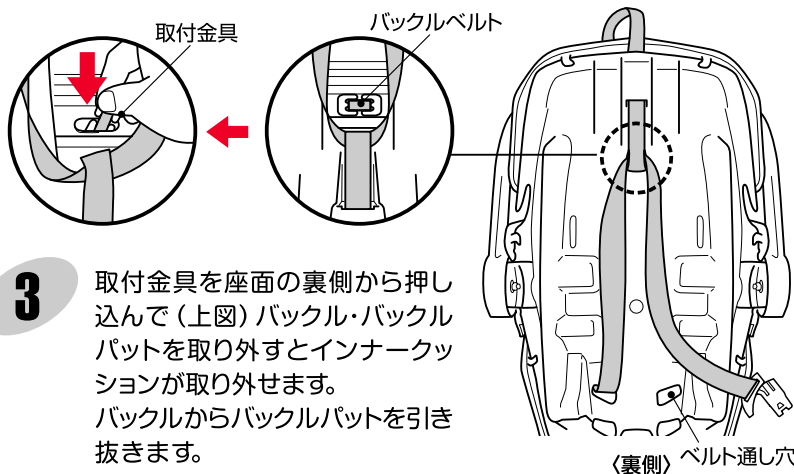
# お手入れのしかた

## 取り外し方

- 1** バックルボタンを押してロックを解除します。  
肩ベルトから、肩ベルトパットを引き抜きます。

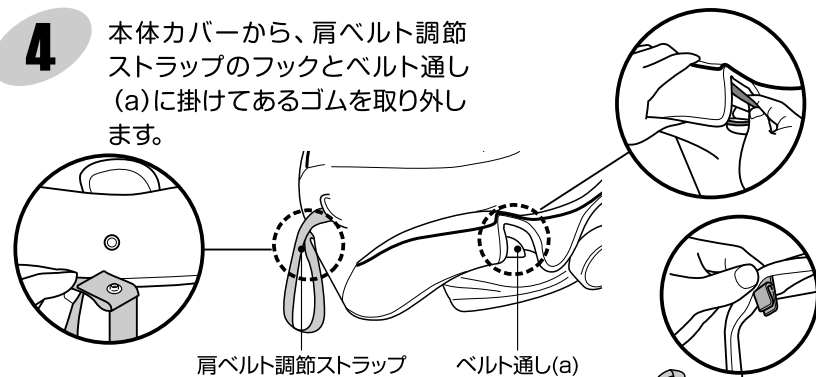


- 2** 背もたれ裏側のベルト通し穴から肩ベルトを引き抜きます。

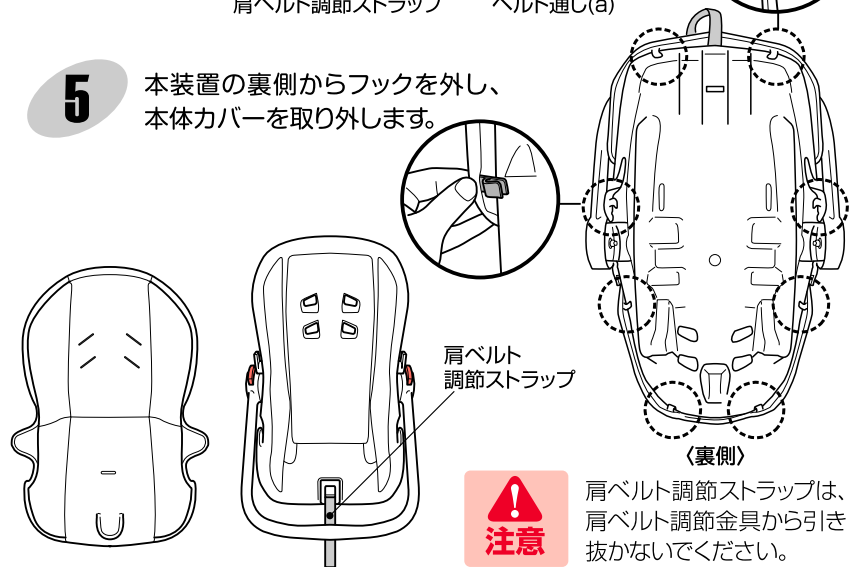


- 3** 取付金具を座面の裏側から押し込んで（上図）バックル・バックルパットを取り外すとインナークッションが取り外せます。  
バックルからバックルパットを引き抜きます。

- 4** 本体カバーから、肩ベルト調節ストラップのフックとベルト通し(a)に掛けてあるゴムを取り外します。



- 5** 本装置の裏側からフックを外し、本体カバーを取り外します。



	液温は30℃を限界とし、手洗いしてください。		ドライクリーニングはできません。
	塩素系漂白剤は、使用できません。		日陰でつり干してください。
	アイロンがけはできません。	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。	

本装置のパット類や部品を紛失・破損してご購入される場合は、裏表紙に記載の(株)シーエー産商までお問い合わせください。

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.